

しなののうた

つつがなく四十余年を過ごしきて守りくれしの夫を拝めり



杉田小百合

しなののうた

出版社を起して息子が励みたる本の冊數位牌を囲む

杉田小百合



しなののうた

いつ来しか娘の撮りし満開の桜の写真が飾られおりぬ



杉田小百合

しなののうた

堂内は深閑としてひえびえと無気味なまでに靈氣迫り来

杉田小百合



しなののうた

熊笹に昨夜の雪が残りいて目を奪われり幾何学模様



杉田小百合